



いよいよ年度末、未来のために一念発起！の巻

新教研テストお疲れさまでした。学年末テストの反省を生かされましたか？

Check! 01

苦手をほったらかしにしない！常に手当をしよう！

大事なのは、「できなかったところ、わからなかったところ」をそのままにしておかない！ということ！

新教研テストではとくに**基礎基本**が問われています。できなかったところは類似問題なども使って繰り返し復習して、知識や考え方をしっかり身につけてほしいです。

「でも基礎とは言うけど大変なんだよ〜！」そう、できるようになるまでが大変。**忍耐&努力が大事**です。

Check! 02

基礎基本は「思考を容易にするために必要な手段」。簡単じゃないの。

附属中集会のときにお話ししましたが、「**基礎・基本**」は「**簡単**」を意味しません。「さまざまな問題に取り組んでいくために**即座に使える・できるようにしておいたほうがよいこと**」であり、**思考を容易にする手段**です。難しいことも含まれます。とくに初めて出会う内容ならなおさらかもしれません。

集会の話の繰り返しになりますが、皆さんが小学校2年生のときに学んだ掛け算九九は、当時覚えるのが大変だったのではないのでしょうか。毎日呪文のように繰り返し、ドリルで練習したはずですが、今では皆さん即座に計算できるでしょうが、もしできないと、日常の計算でとても苦労することになるのは想像がつかますよね。

数学のさまざまな公式や用語、漢字や英単語、国語や英語の文法、問題を解くときの考え方なども、掛け算九九と同じことです。**知っていると思いが速くなり情報の伝達にも便利**、知らないと不便な「手段」。それが、先人たちが見つけ出し、作り出し、修正してきた「**基礎基本**」なのです（だから「基礎基本」の中身は時代によって変わっていくのですよ！）。

応用問題も、基本的には**基礎基本の組み合わせ**やちょっとひねりを加えたもの。応用問題ばかりに取り組むよりも、**基礎・基本を徹底**すると、後でグーンと伸びますよ。春休みは、焦らず足元を固めてくださいね。

Check! 03

「いざ選択」というとき、あるいはその先で、自分の意志を貫くために。

みなさんには、いずれ自分の進路を決める分岐点がおそらくは数回やってきます。そのとき、「**〇〇が苦手だから……**」という理由で、**本当に好きなことを手放したり諦めたりするのは、とてももったいないし、つらいこと**です。

百周年記念誌で、みなさんの大先輩がこんな話を書いていました。模試の結果で文系度100%、理系度0%という判定だったが、どうしても父親の仕事を継ぐために理系に進みたかったので、最後の一年間は本気で数学に基礎から取り組み、志望の進路に進むことができた、と。その方は現在、実際に希望通りの仕事をされています。

もうやりたいことが決まっているあなた。もし苦手教科があるからどうしよう……と悩んでいるなら、「**△△をやりたいから、それに必要な〇〇は絶対にできるようにする！**」と一念発起しましょう！

やりたいことがまだない人も、苦手分野があるとしたら、「**何が何でもこれは絶対にできるようにする！**」と決めてみませんか。**ごくごく狭い範囲でもよい**のです。それを実現できたなら、大きな自信になりますよ！

努力によって少しでも苦手を克服できたなら、その経験はずっと生きていくはず。

勉強って、そういう経験をするのもってこいなんですよ！ **一つ一つ、小さなことでもいいので「あっ、できた！」を積み重ねましょう。**



卒業まであと少し、高校での学習・生活をイメージすべし の巻

自宅学習期間、いい感じで過ごせましたか？ ちょっと羽も伸ばしつつ、学習を続けられましたか。
もうすぐ新しい仲間との出会いの季節！ 準備は万端ですか？

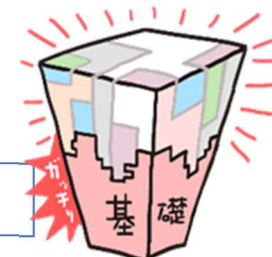


Check! 01 高校の授業はレベルもスピードも上がる。科目も増える！

6日には先輩たちの授業を見学させていただきましたね。高校の授業のイメージはつかめましたか。
高校1年の国語は6日に見学した「言語文化」だけでなく「現代の国語」もあります。つまり、国語が2科目になります。2年生以上になると「論理国語」、「文学国語」(文系のみ)、「古典探究」の2～3科目を学ぶことになります。

英語も「英語コミュニケーション」と「論理・表現」の2科目を学びます。1レッスンで読む英語の量も増えますし、覚えるべき単語もずっと増えます。求められるレベルも、授業のスピードも上がります。

数学は、先取りを続けるか否か悩んでいる人もいと聞いています。数学の先生とよく相談してくださいね。
いずれにしても、高校の授業で扱われる内容量とスピードについていくには、毎日の地道な積み重ねが必要になります。高校入学前に(あるいは入学後も)、まずは中学までの基礎基本を徹底してもらいたいです。



Check! 02 基礎基本は「思考を容易にするために必要な手段」。簡単じゃないの。

附属中集会のときにお話ししましたが、「基礎・基本」は「簡単」を意味しません。「さまざまな問題に取り組んでいくために即座に使える・できるようにしておいたほうがよいこと」であり、思考を容易にする手段です。難しいことも含まれます。とくに初めて出会う内容ならなおさらかもしれません。

集会の話の繰り返しになりますが、皆さんが小学校2年生のときに学んだ掛け算九九は、最初覚えるのが大変だったのではないのでしょうか。毎日呪文のように繰り返し、ドリルで練習したはずですが、今では皆さん即座に計算できるでしょうが、もしできないと、日常の計算でとても苦労することになるのは想像がつかますよね。

数学のさまざまな公式や用語、漢字や英単語、国語や英語の文法、問題を解くときの考え方なども、掛け算九九と同じことです。知っていると思いが速くなり情報の伝達にも便利、知らないと不便な「手段」。それが、先人たちが見つけ出し、作り出し、修正してきた「基礎基本」なのです(だから「基礎基本」の中身は時代によって変わっていくのですよ!)。

応用問題も、基本的には基礎基本の組み合わせやちょっとひねりを加えたもの。応用問題ばかりに取り組むよりも、基礎・基本を徹底すると、後でグーンと伸びますよ。春休みは、焦らず足元を固めてくださいね。

Check! 03 そのすべては、あなたの望む未来を実現するために。

得意・不得意はあるでしょうが、それでも基礎基本を理解し使えるように、なりふり構わず全力の努力を続けてください。毎日小さな「わかる」「できる」を積み重ねて確かな自信を育ててください。
やる気スイッチが ON になるのを待つのではなく、ON になる仕組み、OFF のままでもやれる仕組みを考えてください。その経験が、その仕組みが、高校生活、大学生活、その先の社会人生活でも、必ずあなたを支えてくれます。
無駄な努力はありません。無駄な教科ありません。やったことのすべてがあなたの糧になりますよ。



4月に始まるみなさんの高校生活、そしてその先の人生が、豊かなものになりますように。応援しています！